

部位特異的DNAメチル化の迅速検出、定量的解析に

12月発売開始！

ICONプローブ

(特徴)

これまでのメチル化解析はサンプル調製にバイサルファイト法が用いられてきました。バイサルファイト法は以下のような問題点があります。

- ・副反応によるDNAの分解、脱塩基による認識配列の変化
- ・反応時間が長い(>10時間)
- ・ハイスループット解析が困難
- ・定量性が低い

ICONプローブによるメチル化検出は、これらの問題点をクリアする全く新しいメチル化解析を提供します。

ICONプローブは、ハイブリダイゼーションした配列中のメチル化シトシンとオスミウム錯体の特異的に形成します。これを定量PCRや電気泳動で検出することにより、定量的かつ迅速なメチル化解析が可能です。

【メチル化解析に様々なメリット】

- ・副反応が起きず、サンプルDNAへのダメージがない
- ・サンプル調製から定量PCRで結果が得られるまで、約3時間程度
- ・ハイスループット解析が可能
- ・定量性が高く、今まで困難だった部位特異的なメチル化の量的解析も可能

ICONプローブとICONプローブを用いたメチルシトシンの検出法は、(現)理化学研究所フロンティア研究システム 岡本独立主幹研究ユニット 岡本 晃充 先生の研究成果であり、京都大学が特許出願中です(特願2006-316189号)。

【問い合わせ先】(株)ジーンデザイン 学術部

dna@genedesign.co.jp tel 072-640-5180